



2020年5月1日

各 位

会社名 株式会社LIXILグループ
 代表者名 代表執行役社長 瀬戸 欣哉
 (コード番号 5938 東証・名証各一部)
 問合せ先責任者 IR室 室長 平野 華世
 (TEL 03-6706-7001)

業績予想の修正（連結）および国内子会社での特別損失の計上に関するお知らせ

2019年5月13日に公表致しました2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の通期の業績予想の修正につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 通期の連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	継続事業に係る金額					非継続事業を含む金額		
	売上収益	事業利益	営業利益	税引前利益	当期利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	1,850,000	47,000	38,000	44,000	17,600	17,600	15,000	51.71
今回発表予想(B)	1,695,000	58,500	39,500	47,000	32,000	16,000	15,000	51.71
増減額(B-A)	△155,000	11,500	1,500	3,000	14,400	△1,600	-	-
増減率(%)	△8.4	24.5	3.9	6.8	81.8	△9.1	-	-

(注) 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出した金額であります。

2. 修正の主な理由

本日、別途お知らせしておりますとおり、当社の連結子会社である Permasteelisa S.p.A.（以下、ペルマステリーザ社）の株式譲渡を決定いたしました。

この決定に伴い、以下2点を主な理由として通期の業績予想を修正するものです。

- (1) 当初業績見込みの公表時点では、当株式譲渡における最終的な合意内容および契約締結時期を予測することは困難であったため、2020年3月期通期連結業績予想に本件株式譲渡取引により生じる影響見込額は織り込まれていなかったため。
- (2) 当社は2016年3月期より国際会計基準（以下、IFRS）を適用しております。本株式譲渡に関する会計処理および表示の方法の詳細については、監査人と協議中ではありますが、当社では、今回の決定により、IFRS第5号「売却目的で保有する非流動資産及び非継続事業」に基づき、下記のとおり処理される結果、当社の通期業績見込みは、「1. 通期の連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）」のようになるものと考えております。

- ペルマスティリーザ社が保有する資産及び負債は、売却目的で保有する資産及び負債に分類して表示
- ペルマスティリーザ社の事業等から生じた損益は税引後の金額により、非継続事業の損益として別掲

このように、IFRS 第5号の会計処理および表示の方法を適用した場合には、当初の通期業績見込みに対して、連結損益計算書における各段階利益が大きく変動することになるため。

また、当社の完全子会社である株式会社 LIXIL において、同社が保有するペルマスティリーザ社株式について、帳簿価額を売却価額見込額まで減額処理をしたことから、単体ベース（日本会計基準）で特別損失 279 億円を計上いたします。当該損失は、連結決算上で消去されるため、当社連結決算に影響はありません。

なお、2020年3月期の配当につきましては、1株当たりの年間配当金を70円とする方針に変更はありません。

以上